

【スライド1枚目】 開始～2分35秒

京都工芸繊維大学の布施です。本学にこのようなすばらしい賞をいただきまして誠にありがとうございます。

画面に表示しているとおり、学生のサークル活動を後押ししています。ここに至った経緯として、京都工芸繊維大学は ISO14001 を 1998 年ごろに取得する動きがあり、前任の山田悦先生や京都大学の高月先生の影響を受け、我々の大学でも先進的に取り組んでいきたいということで始めました。

ISO14001 を研究教育機関で取得するに当たって、メーカーと異なり、大量のものを使うことはないため、どういうことを目指すべきか考えたときに、やはり人材育成と研究のアウトプットで環境に貢献するということを目指して取り組んでいます。キーワードとして、環境マインドをもつ学生を世に輩出していくということを目指しています。ようやく学生の頑張りが実って、このような賞をいただくことになりました。

ここからはボタンタッチして学生から取組を紹介していただきます。

それではこれから、キャンパスからの脱炭素プロジェクト“KIT 環境サークル「あーす」“の取組を紹介します。

【スライド2枚目】 2分36秒～2分57秒

私たちは、京都工芸繊維大学における学生と教員の共同プロジェクトとして2022年に設立されました。現在は、環境科学が専門の布施先生、初先生とともに活動をしています。

私たちは、大きく分けて二つの環境に関する社会現象に着目して、活動しています。

【スライド3枚目】 2分58秒～3分45秒

一つ目は、服の廃棄の問題です。環境省のデータによると、日本では、平均すると一日当たり、大型トラック約 130 台分もの服が焼却・埋め立て処分されており、一年間で一回も着られていない服が1人あたり約 25 着もあります。また、フランスでは、2022年1月に、企業が売れ残った服をリサイクルや寄付によって処理することが義務付けられた法律が施行されるなど、世界的に取組が盛んになっています。こうした世界の状況を踏まえ、私たち学生が循環型のファッションを発信していくことが大切だと考えました。

【スライド4枚目】 3分46秒～4分15秒

二つ目は、ペットボトルの使用に関する問題です。日本では、清涼飲料水用ペットボトルの出荷本数は約 217 億本と多く、日本は世界的に見るとペットボトルの回収率は高いものの、ペットボトルを原料にしてペットボトルに再生される割合は約 10%と低いのが現状です。そこで私たちはペットボトルの使用量を減らすとともに、正しくリサイクルすることを促すことを考えました。

【スライド5枚目】 4分16秒～4分31秒

以上の二つの事柄から、私たちは、資源の廃棄量を削減し、資源を循環させていくとともに、学生が気軽に環境活動に取り組むことを目標にしています。

【スライド6、7枚目】 4分32秒～4分39秒

続いて、具体的に「あーす」の取組を紹介します。

まず、ごみ・ペットボトルの廃棄量削減についてです。

【スライド8枚目】 4分40秒～5分04秒

前述したような社会問題に加えて、外出途中に水分を買う学生が多いという意見から、大学の学食にウォーターサーバーを設置しました。また、ペットボトルのリサイクル意識を高めるためにペットツリーという写真のようなオブジェを作成し、リサイクル方法を宣伝しました。

【スライド9枚目】 5分05秒～5分33秒

ウォーターサーバーを設置した結果、お昼休みには列ができるほど、たくさんの学生に使用いただき、1年間の水の使用量は、約8,230L、500mL ペットボトルに換算すると、約16,460本分にもなりました。

引き続き、ウォーターサーバーを設置することで更なる利用を促し、ペットボトルの使用量を減らすことが期待できます。

【スライド10、⑩枚目】 5分34秒～5分55秒

古着リユースとリメイクについてです。

古着を常時回収できるように、校内に二か所と学生寮に一か所、計三か所に回収ボックスを設置しました。季節によるばらつきはあるものの、毎月約70～80着の古着を回収しています。

【スライド12枚目】 5分56秒～6分21秒

また、昨年の秋と今年の秋に学生寮を運営している会社の方やファッションブランドの方に御協力いただき、学生寮の中庭にて古着イベントを行いました。

地域の方に多数協力いただき、5時間のイベントで約800着を集めることができました。

【スライド13枚目】 6分22秒～6分41秒

こうして集めた服は、オープンキャンパスや学祭など、人がたくさん集まる機会に無料で販売しています。

昨年の学祭では3日間で約1,500人の方に来ていただき、約900点配布することができました。

【スライド14枚目】 6分42秒～7分17秒

環境省のデータによると服1着を製造するのに、二酸化炭素25.5kg、水約2,300Lを消費しており、昨年の学祭で皆さんの手に渡った約900点の服には、二酸化炭素約22,950kg、水約2,070,000L含まれていることが分かります。

服を提供することで、これらの資源を無駄にせず済むことが期待できます。

【スライド 15 枚目】 7分 18 秒～7分 38 秒

回収する中で、どうしても襟が汚れていたり、そのまま配布することが憚られるものもあり、そうしたのものに関しては古着のリメイクをしています。

今年の学祭は来週末 16 日、17 日に行われる予定で、着々と準備を進めています。

【スライド 16 枚目】 7分 39 秒～8分 24 秒

その他の活動として、最近学内で傘シェアリングを始めました。

また、京都大学の環境サークルの皆さんと鴨川沿いのごみ拾いを行ったり、パネルディスカッションに参加したりと、他大学との交流企画を定期的に行っています。

他にも、学内の植物マップを作成したりと積極的に活動の場を広げています。

最近学内の知名度も上がってきており、活動に手ごたえを感じています。

また、企業の方から御連絡いただくことも増えており、今までの活動を継続しつつ新しいことにも挑戦していきたいと考えています。

以上で活動紹介を終わります。

御清聴ありがとうございました。